

「腹水細胞診単独陽性の StageIV 胃癌に対する定型的リンパ節郭清を伴う胃切除の治療成績の評価」ご協力をお願い

腹水細胞診単独陽性の stageIV胃癌の治療方針に関して、胃切除後の化学療法は推奨されています。しかし、術前を含めた化学療法と胃切除のタイミング、至適化学療法レジメン、期間についてのエビデンスはいまだございません。これまで、腹水細胞診単独陽性 stageIV胃癌に根治的切除を行い、予後良好な成績が多数報告されてきました。今回、当院の過去の症例を検討することで、腹水細胞診単独陽性の stageIV胃癌に対して定型的標準リンパ節郭清を伴う胃切除を行うことは予後的に意義があるのかどうか調べます。

実施施設および担当医師

京都第一赤十字病院消化器外科	小松 周平(責任研究医師)
京都第一赤十字病院消化器外科	池下 千彬(分担研究医師)
京都第一赤十字病院消化器外科	塩飽 保博(分担研究医師)

研究の方法

1992年1月から2017年4月に当院で胃外科治療を施行した2337例中、CY単独陽性胃癌に対して胃切除を施行した51例を対象とします。

- ① 関連情報: Stage、病理所見、画像所見、臨床病理学的因子、採血、治療内容、予後、項目など
データベースや電子カルテから情報を集めます。

- ② 患者基本情報: 性、年齢、罹病期間、身長、体重など

本研究の対象患者のデータを、所定のフォーマット(パスワード付きエクセルファイル)で一括して管理し、データの解析は京都第一赤十字病院消化器外科にて行います。情報は院内にて厳重に管理され、第三者への提供は致しません。本研究の結果は学会発表・医学論文として公表する予定です。

患者様の利益・不利益(リスク)および同意取得

本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究への参加に関しては、本掲示をもって文書同意に代えますが、同意いただけない場合は、研究データへの組み入れを取り消しますので、下記までご連絡ください。

事務局・患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地
京都第一赤十字病院 消化器外科
電話 075-561-1121(代表) Fax 075-561-6308
責任研究医師氏名 小松周平(skomatsu@koto.kpu-m.ac.jp)